

協議事項 「住民主体による新たな地域づくり」

～地域、住民を巻き込むための新たな手段、方法を探る～

【今日の協議の趣旨】

合併後 10 年の総括として、厚田区が目指す将来の姿「近説遠来（近くの人が喜び、遠くからおのずと人が来る“まち”）」の実現を目指し、新たな地域づくりに向け、更に多くの住民が係わる・携わる仕組みを導き出す。

【これまでの協議内容】

1/29 第 10 回地域協議会 ～地域の将来を見据えた対策について①～

委員それぞれの立場から、地域の課題やその対策など意見交換を実施した。

(主な意見)

- ・農業経営継承の問題、将来が不安。
- ・第 6 次産業化（生産、加工、販売）。
- ・商工会員、漁師の高齢化や担い手不足。
- ・区内ビューポイントの活用。
- ・体験型の展開により付加価値を付ける。
- ・地元の資源を使ったビジネスを考える。

2/27 第 11 回地域協議会 ～地域の将来を見据えた対策について②～

地域巻き込み型 先進事例「島根県 隠岐郡 海士（あま）町」の紹介、検証。

(主な活動)

- ・町長、町職員の給与をカットし、そのお金を地域資源やブランド化に投入。
- ・移住者中心となった高校生教育プロジェクト。（学生自ら地元で起業、町税金で塾実施）
- ・子ども議会。（中学生事業提案→議会議決→町予算化→中学生実行）
- ・テキスト「海士町をつくる 24 の提案」を小学生以上一人一人一冊ずつ配布。

(アイデアをかたちにするステップ)

- ・「できない理由探し」をせず、「できるための条件探し」を！
- ・「できることからはじめよう」から「できることを広げよう！」
- ・「～しなければならぬ」より「～しよう」型の活動を！
- ・みんなに喜ばれる活動をつくりだそう！



地域づくりに係わる仕掛け
新たな地域人材の巻き込み

どのように？